

要 旨

試験委託者

環境庁

表 題ベンゼンチオールのおオミジンコ (*Daphnia magna*) に対する繁殖阻害試験試験番号

NMMP/E99/3060

試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドライン No.211「オオミジンコ繁殖試験」(1998年)に準拠して実施した。

- 1) 被験物質 : ベンゼンチオール
- 2) 暴露方法 : 半止水式(毎日1回、試験液の全量を交換)
- 3) 供試生物 : オオミジンコ (*Daphnia magna*)
- 4) 暴露期間 : 21 日間
- 5) 試験濃度 : 対照区、2.1 μ g/L、3.8 μ g/L、6.9 μ g/L、12.3 μ g/L、22.2 μ g/L および
40.0 μ g/L (公比1.8、設定濃度)
- 6) 試験液量 : 1容器(連)につき 80 mL
- 7) 連数 : 10 容器(連)/濃度区
- 8) 供試生物数 : 10 頭/濃度区(1連につき1頭)
- 9) 試験水温 : $20 \pm 1^{\circ}\text{C}$
- 10) 照明 : 室内光、16 時間明/8 時間暗
- 11) 被験物質の分析 : GC法

結 果

1) 試験液中の被験物質濃度

実測濃度が設定濃度の $\pm 20\%$ を外れたので結果の算出には実測濃度の時間加重平均値を用いた。

2) 21 日間の親ミジンコの半数 致死濃度(LC50) = $>3.3 \mu\text{g/L}$

3) 21 日間の 50% 繁殖阻害濃度(ErC50)

= $<3.7 \mu\text{g/L}$ (95%信頼区間 : $<4.6 \mu\text{g/L}$)

4) 21 日間の最大無作用濃度(NOECr) = $<2.0 \mu\text{g/L}$

5) 21 日間の最小作用濃度(LOECr) = $3.3 \mu\text{g/L}$

(上記濃度は、実測濃度の時間加重平均値に基づく値である)